校報ふれあい
笑顔と挑戦を大切に
やり切る田井小学校
第３３５号
Ｒ７.11.20発行
雲南市立田井小学校
校長　横田

１人１人が輝き大切にされる学校

先日、来校された方々から、続けてうれしい言葉をかけていただきました。

- **「田井小の子どもたちは堂々と、そして伸び伸びと表現できていますね。」**
- **「田井小の職員の皆さんが１つのチームとなって子どもたちを支え、伸ばしておられることがよくわかりました。」**
- **「いやあ、心が洗われる学校ですね～。」（←感嘆のため息混じりで）**

田井小学校のように小規模の学校には小規模のよさや課題が、同様に、大きな学校には大規模のよさや課題があるので、どちらがよいとか悪いというものではありません。今回は、「小規模校のよさ」について、田井小学校を例に考えてみたいと思います。

１. 子どもたち１人１人に関われる時間の多さ･密接度

わかりやすく数値で表すために、例として学校で過ごす１日を想定してみます。

朝活動が始まるのが8:15、児童が下校するのが15:30なので、学校にいる時間は7時間15分（435分）です。例として、1クラス5人と1クラス40人の学級で比べてみます。

◆担任が1日に1人の子どもに関わる時間（例）　※435分÷（人数）

1クラス5人の学級　87分間　⇔　1クラス40人の学級　約11分間

この通りにはなりませんが、数値上で比べるとかなりの差だなと感じます。

実際、田井小学校では教職員が子どもたち1人1人の気持ちや考えを丁寧に把握しやすかったり、小さな変化に気づいて声がけしたりする頻度はかなり多くあると思います。（大規模な学級ではしたくてもこんなに声をかけることはできないのです。）

少し難しい話になってしまいましたが、このことを子どもの側に立って考えてみると、わかりやすくなるかもしれませんね。つまり、田井小学校の子どもたちは、**「先生が私のことを気にかけてくれる。声をかけてもらえる。」「勉強や友達関係で気になることがあったら、すぐに相談できる。教えてもらえる。」という安心感・信頼感**につながることを実感しやすいのではないでしょうか。

２. 密接な関わりを通して人を信じることを学ぶ

今年度、田井小学校の目指す学校像は**「1人1人が輝き、大切にされる学校」**と設定しました。

「1人1人が輝き、大切にされる」ことを本気で取り組もうとすると、教職員の負担は大きくなります。しかし、この難しいけれど大きな価値があることについて、教職員に伝え理解してもらい、学校一丸となって挑戦しています。

ですから、冒頭で紹介したように「田井小の職員が1つのチーム」という言葉をかけてもらったことは、とてもうれしく、ありがたく思いました。

こうした**「教職員と子どもたち」、そしていつも惜しみない協力をしてくださる「地域の方と子どもたち」という密接な関わりは、田井小学校・田井地区の大きな宝物**だと思っています。

親以外でも信頼できる大人との関わりは、田井の子どもたちにとって「人を信じることやその大切さ」を実感を伴って学べる貴重な機会となります。

子どもの時にこの感覚を掴めると、この先の人生や人間関係が豊かなものになります。田井地区においては、学校・家庭・地域が１つのチームとなって、一緒に子どもたちを育んでいただいていることに、改めて感謝いたします。

HOT TOPIC! 笑顔と挑戦を大切にやり切った学習発表会

１１月１５日（土）に「田井っ子学習発表会」を開催しました。
当日は田井地区内外から多くのお客様をお迎えし、子どもたちの学習発表を見ていただきましたこと、お礼申しあげます。
各学年部では学習発表会に向け、声の出し方やせりふの言い回し、歌やダンスや細かい動作など、日々の練習の中で努力と工夫を重ねて表現することに挑戦してきました。それらの様子を写真と共に紹介します。

『サラダでげんき』をアレンジして、動物たちから提案してもらった数々のことを元気よく発表しました。

深野川の水質調査をしてわかったことや考えたことをわかりやすくまとめ、地域への思いを歌で表現しました。

歴史上の人物になり切りその時代の平和のたねを見つけ、平和であることの意味を来場者に伝えました。

各発表に共通した特徴が、「**①地域の皆様に教えてもらったことを取り入れている**」、「**②地域の皆様への感謝の気持ちや、半年以上学習を積み上げてきた成果を盛り込んでいる**」ことです。
田井小学校はとても小さな学校であるからこそ自分らしさを発揮し、それが認められることにより、１人１人が輝き大切にされる生活を送っています。
これは田井小学校の大きな特長であり、強みです。当日は、幼児から９０歳代という全世代の皆様に田井っ子たちが生き生きと輝く姿を見ていただき、温かいご声援を送ってくださったことに、心から感謝しています。

お客様の声（抜粋）

- 素晴らしい。とても15名で演じているとは思えない立派な発表会に感動。
- 児童のきれいな歌声が素晴らしい。
- みんなが主役！素晴らしいの一言。
- 田井小学校は地域にとても愛されていることを改めて感じた。
- 1人1人が楽しそうに、一生懸命やっている姿を見てとても感動した。人数が少なくても、大きな学校に負けないすてきな学習発表会だった。
- 少ない人数でもここまでできる！ということを教えてくれた田井っ子を誇らしく思う。

田井小の魅力的な活動

吉田で秋見つけ＆町さんぽ

１・２年生が吉田小学校の友達と一緒に「秋見つけ」や「吉田の町さんぽ」などの交流活動を行いました。３つの班に分かれて木の実や葉っぱを見つけたり、吉田の趣ある街並みを一緒に歩いたりしました。いつもより多い人数で一緒にお弁当を食べたり、教室や体育館で楽しく活動したりし、交流を深めることができました。

駐在所への社会科見学

３・４年生が田井駐在所へ社会科見学におじゃましました。

駐在所の役割や警察官の仕事について、詳しく教えてもらいました。また、特別に鑑識体験という専門的なことも教えてもらいました。

田井地区では駐在所の警察官が学校や地域に密着してくださっているので、みんなが安心・安全に暮らすことも感じられた社会科見学でした！

地域に根差した「炭焼き」体験

５・６年生が「田井の炭焼き名人さん」から炭焼きを教えてもらいました。よい炭になるナラの木を詰め入れたり、粘土と水を練ったりしました。名人の皆さんは「木を詰め込む工程」や、最後に「レンガと粘土で窯の入り口を塞ぐ工程」を、熟練の知識と経験、技術で仕上げてくださいました。また、質問タイムでは、田井地区で行われてきた炭焼きについて、名人の皆さんにたくさん教えてもらいました！！

遠足

１～４年生が「風の子学習館」に遠足に出かけました。工作体験で作った作品を使って外で遊んだり、大きな広場で思い思いに活動したりしました。

昼前には出雲市内のデパートに移動し、「フードコート」で1,000円以内で食べたいものを注文。

これも普段はできない社会体験として取り入れました。

4年生は人数確認や整列などの場面で、よきリーダーぶりを発揮できました。

児童会発案！「ペア読み語り」

児童会の発案で、ペアで読み語りを行いました。相手にどの本を読もうかと選書したり、事前に読む練習をしたりして当日を迎えました。

低学年と高学年がペアになり、お互いに心を込めて読み、聴き合いました。心が温かくなるステキな企画をしてくれた児童会の皆さん、ありがとう！

田井小の先生たちの授業づくりの研究が注目されています！

ひまわり学級で授業研究を行い、教員が授業づくりについて互いに学び合いました。

今回は児童の課題や取り組んでほしい活動を「ミッション」として設定し、子どもたちが進んでやりたくなるような巧みな仕掛けが施された授業でした。

田井小の研究は、県教育委員会の指導主事が取り上げ全国の研修会で紹介してくださるほど高く評価されています。

今年度も既に３回もの授業研究を行い、さらに授業力の向上に取り組んでいます。

授業公開日（健康教育）

健康教育の授業公開日に併せて、保護者の方向けの給食試食会および学校保健委員会研修を行いました。

○低学年「今が食べ頃おいしいな」
○中学年「らしさってなんだろう？」
○高学年「たばこの害について考えよう」
○学校保健委員会研修
「家族みんなでチャレンジ！心と体が元気に育つ、メディアとの上手な付き合い方と生活リズム」安部孝文先生（島根大学）

※詳しくは、先日発行した学校保健委員会だよりにまとめています。

今後の主な行事予定(～12/25)

《１１月》

２１日　家族読書週間（～１２月１日）
２５日　ロードレース大会（予備日２８日）
２６日　スクールカウンセラー来校日
２７日　地域の方とクッキング　低学年

《１２月》

２日　ﾃﾞｼﾞﾀﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ教育学校訪問
３・10・17日　体育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰによる授業
４日　研究授業（学校訪問指導）高学年
５日　個人懇談
１６日　しめ縄づくり体験
１７日　スクールカウンセラー来校日
１９日　みーもスクール　中学年
２４日　給食終了
２５日　終業式

田井小学校ホームページ

田井小学校